

## 寄付白書 2012 問合せ Q&A

Q. 震災寄付は全体でいくらか？

A. 国内の受け手団体が直接得ている寄付を積み上げて推計した結果、約 6000 億円。(これには、海外の赤十字社が集めた海外救援金は含んでいない。これを含めると約 6600 億円となる)

Q. 震災寄付のうち個人寄付／法人寄付の割合は？

A. 上記の受け手団体の得ている寄付の積み上げ推計からは、個人寄付／法人寄付の内訳は分からない。ただ、寄付の出し手側としての法人寄付に関しては、経団連が会員企業・団体に行っている調査では 1010 億円（社員・消費者・顧客などからの寄付も含めると 1223 億円）との結果が出ている。また、寄付の出し手としての個人寄付については、出し手としての個人に対して行った当協会の調査から約 5000 億円と推計される。

Q. 震災への個人寄付は全体（6000 億円）から法人寄付を引いた金額か？

A. 違います。法人寄付の 1010 億円は経団連会員企業・団体のもののみなので、これで法人寄付全体とは言えない。

Q. 海外からの寄付金額は 1194 億円？

A. 1194 億円は、日本銀行国際局「2011 年の国際収支動向」をもとに、海外からの義援金、支援金、日本赤十字社の海外救援金などの寄付金として、国際収支統計で経常移転収支の「その他移転」に計上されたものの累計であるので、凡その最大金額とは考えられる。

Q. 震災関連のボランティア活動時間・1 時間の割合が 9 割なのはなぜか？震災ボランティアで 1 時間しか行わないということはあるのではないかと？（表 1 - 12）

A. 震災に関連するボランティア活動時間は、1 ヶ月の平均時間を聞いた結果であるため、1 時間の割合が高く出ている。例えば、週末などを利用して、2 日間で 12 時間程度活動した場合であれば、1 ヶ月平均活動時間は、24 分となり 1 時間未満となる。